

2012年2月27日(月)

報道関係者各位

公益財団法人笹川平和財団 (SPF)

笹川平和財団主催 シンポジウムのご案内

「参加型社会に向けた社会統合 — 人口構成の変化・災害・経済危機」

笹川平和財団では、急激に変化しつつある人口構成の変化への対応を考えるため、2008年度から主に外国人住民・労働者の受入れ政策に関する調査研究、提言書の作成等のプロジェクトを実施してきました。

今般、これまでの事業成果と現在の状況を踏まえ、下記の通りシンポジウムを開催いたします。金融危機以降「多文化主義の失敗」が伝えられたドイツの社会統合政策の現状や、経済成長を維持するシンガポールの少子高齢化への対応策を参考にしつつ、日本における外国人住民・労働者の受け入れや社会統合をめぐる問題を「経済」「災害」「少子・高齢化」というキーワードを手掛かりに議論し、「包容力ある社会」について考えます。(詳細は別添プログラム参照。)

日時： 2012年3月9日 (金) 13:00 ~ 17:00

場所： 日本財団ビル 2F 会議室 (東京都港区赤坂1-2-2)

参加費無料・要予約・日英同時通訳付

申込方法： 3月8日(木) 13:00までに SPF ホームページ (<http://www.spf.org>) より  
お申し込みください。

お問合せ： 公益財団法人笹川平和財団「人口変動の新潮流への対処」事業事務局  
担当 岡室・牧野

電話番号：03-6229-5478 Email：[jinkou@spf.or.jp](mailto:jinkou@spf.or.jp)

広報担当：兵藤 Tel.03-6229-5456 / 080-1249-7536 [hyodo@spf.or.jp](mailto:hyodo@spf.or.jp)

高齢化・少子化・人口減少という言葉で表現されるように、現在、社会保障制度の維持や経済を支える産業構造の再構築が喫緊の課題となっています。女性、若者、退職者、障害者、外国人といった多様な人々が参画し活躍できる「包容力ある社会」はどのように築いていけるのか。様々な視点から検討します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

「参加型社会に向けた社会統合 — 人口構成の変化・災害・経済危機」  
プログラム

- 13:00-13:05 開会のことば：羽生次郎（笹川平和財団会長）
- 13:05-13:10 ご挨拶予定：中川正春（衆議院議員／内閣府特命大臣）
- 13:10-13:15 趣旨説明 石弘之（前東京大学／北海道大学大学院教授）
- 13:15-13:40 基調講演 1. 「ベルリン移民集住地域における社会統合政策の展開」  
Mr. Lars Oeverdiecks  
（ベルリン市ノイケルン地区社会民主党議長）
- 13:40-14:05 基調講演 2. 「少子高齢社会とワークライフバランス」  
Ms. Laura Hwang（シンガポール女性団体委員会委員長）
- 14:05-14:40 **テーマ 1. 経済・人口と社会統合**  
「少子高齢化と日本経済—外国人労働受け入れおよび代替的政策選択」  
後藤純一（慶応大学教授）  
「参加型社会に向けて」  
池上清子（日本大学大学院教授／元国連人口基金東京事務所長）
- 14:40-15:15 **テーマ 2. 災害と社会統合—外国人・高齢者・マイノリティ**  
「被災者とNPOをつなぎ支える合同プロジェクト「つなプロ」の  
データから」（仮）  
川北秀人（つなプロ幹事／IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所）  
「被災地最前線における「外国人」と社会統合」  
J・F・モリス（宮城学院女子大学 教授）
- 15:15-15:25 休憩
- 15:25-16:00 **テーマ 3. 老いるアジアと社会統合—多様な担い手と人材育成**  
「看護・介護の国際化と社会統合  
—EPAによる医療・福祉人材の受け入れは何をもたらしたか」  
安里和晃（京都大学准教授）  
「アジア型エイジング・ビジネスと人材育成」（仮）  
清崎 昭紀（NPO 法人アジアン・エイジング・ビジネスセンター理事  
／学校法人麻生塾企画・渉外室長 コーディネーター）
- 16:05-17:00 総合ディスカッション モデレーター：小川全夫（熊本学園大学教授）